

公表 養所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス エール皇徳寺		公表日		令和8年 2月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者が少ないかつ指導員も少ないときは、活動する部屋を限定するなどの工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもがいる部屋には必ず指導員が1人以上	送迎時間が重なった時、難しさを感じる点がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差のクッションや、階段の目印のテープなど、配慮がなされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		遊ぶ内容によって、活動の空間を分けている(レゴ・ボールetc.)。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		受験を控えた中学生は長時間学習室を利用できるようにするなど、配慮している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼・終礼等で目標設定と振り返りをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1度評価表を集計し、職員間で話し合い、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に研修や日々のミーティングを実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		アドバイザーの先生や、相談支援事業所、児発の先生方に評価をしていただき、業務改	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に3回ほど、研修を受けている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、HPで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		気になることや、問題は職員で意見を出し合い考える時間がある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		気になることや、問題は職員で意見を出し合い考える時間がある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で計画を振り返り、考える時間がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		気になることや、問題は毎日職員で意見を出し合い考える時間がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月1会議を行い、チームで立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	土曜や祝日の活動は特に、新しい活動や季節に関する活動を行うことで固定化されないよう工夫されている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個々での制作活動や集団でのレクリエーションなど、組み合わせられている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	昼礼で、その日のリーダーの先生から話を聞き、確認し、分担できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	終礼で目標に対して振り返りを行い、情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	朝礼や終礼で日々記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年に1度、モニタリングを行い見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	学習の際、家ですか、どこまでするかなど、スケジュールしながら自己選択でき	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎時や担当者会議でしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		まだ、そういった児童はいないが、研修等は行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	公園活動の際、集団活動で地域の他のこどもとの交流を図っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加できる場所がないか模索中である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	送迎の際にお伝えできるよう、心掛けている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		参加できる場所がないか模索中である。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	書面でも、対面でもしている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		各家庭の事情を鑑みると、開催は難しい。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応の体制を整備して対応している。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやHugの活用で発信できている。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的な表示物などを用いている。		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		県民週間を利用し、各学校の授業参観へ参加した。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルはいつでもだれでも閲覧できるよう、事業所入り口に設置している。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの話し合いや、避難訓練などを行っている。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬がある場合、必ず指導員が見ているところで服用させている。		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様とも連携を図りながら対応している。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		月1会議を行い、対策について検討している。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会議や研修等で適切な対応をしている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時にお伝えしている。 研修に参加し、振り返りを行っている。			